



第28期 定時株主総会

2026年6月26日



報告事項

- 招集通知 13ページから42ページまで
- 交付書面非記載事項 01ページから42ページまで

2026年2月中東情勢悪化により、世界的に石油、LNG調達困難

課題

政策

国内

- データセンター・半導体工場増設による電力需要増対応
- 再エネに対する需要家ニーズの増加

- 第7次エネルギー基本計画における再エネ及び原子力比率の上昇

東南アジア

- 石油以外の燃料確保は緊急課題（石炭等化石燃料への回帰）
- 豊富なバイオマス資源の活用

- エネルギー安全保障の強化

燃料の安定供給が課題。
脱炭素事業の価値向上。

燃料価格は大幅に高騰、但し25年度業績への影響は限定的

全体 戦略

- 積極的な販売拡大施策と機動的な調達をさらに強化
- 多様な料金プラン開発と販売チャネルへの展開

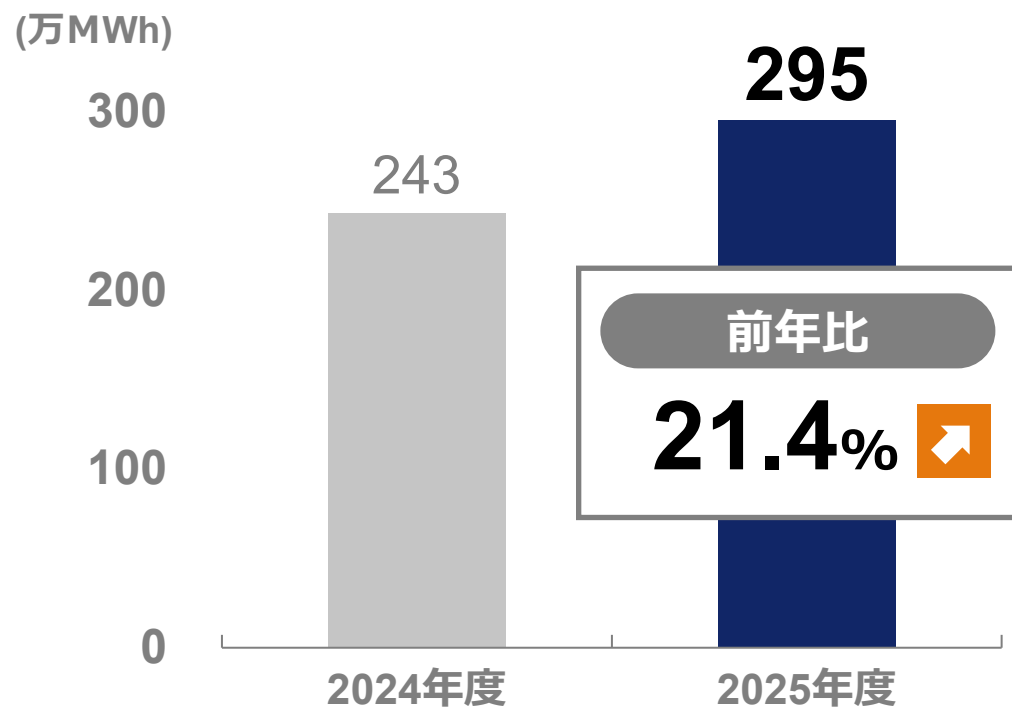
高圧

- 顧客ニーズに応えるメニューの開発と販路全般を通じた提案力の向上
- 直販強化による更なる販売電力量の増加

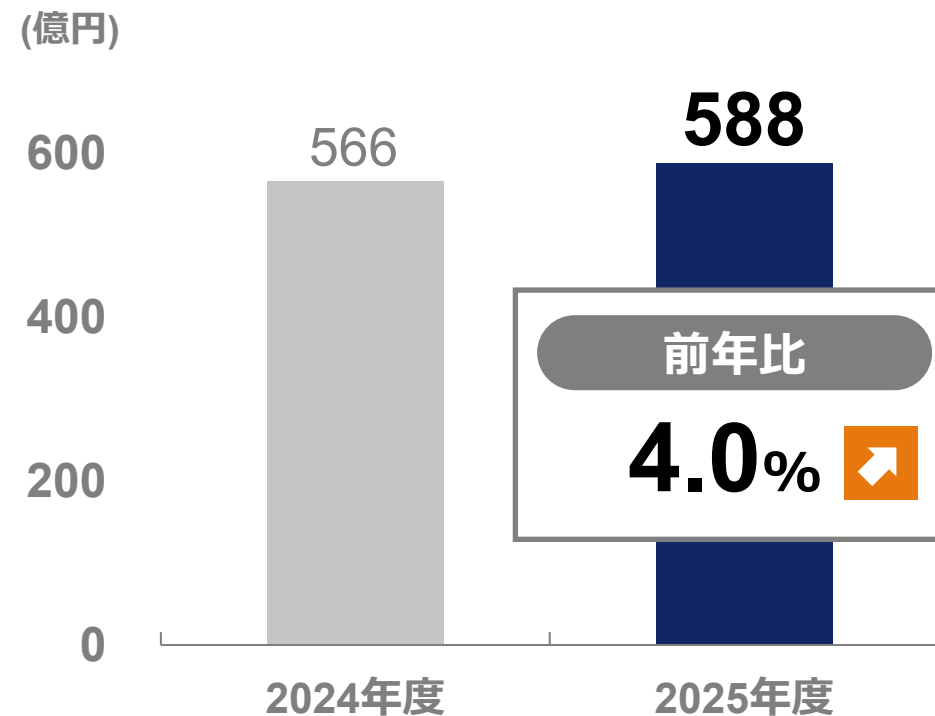
低圧

- 新規販売パートナーの開拓と既存パートナーとの連携強化
- 顧客接点の増加と顧客体験向上に向けた取り組み
(アプリ開発、付帯サービス等)

販売電力量

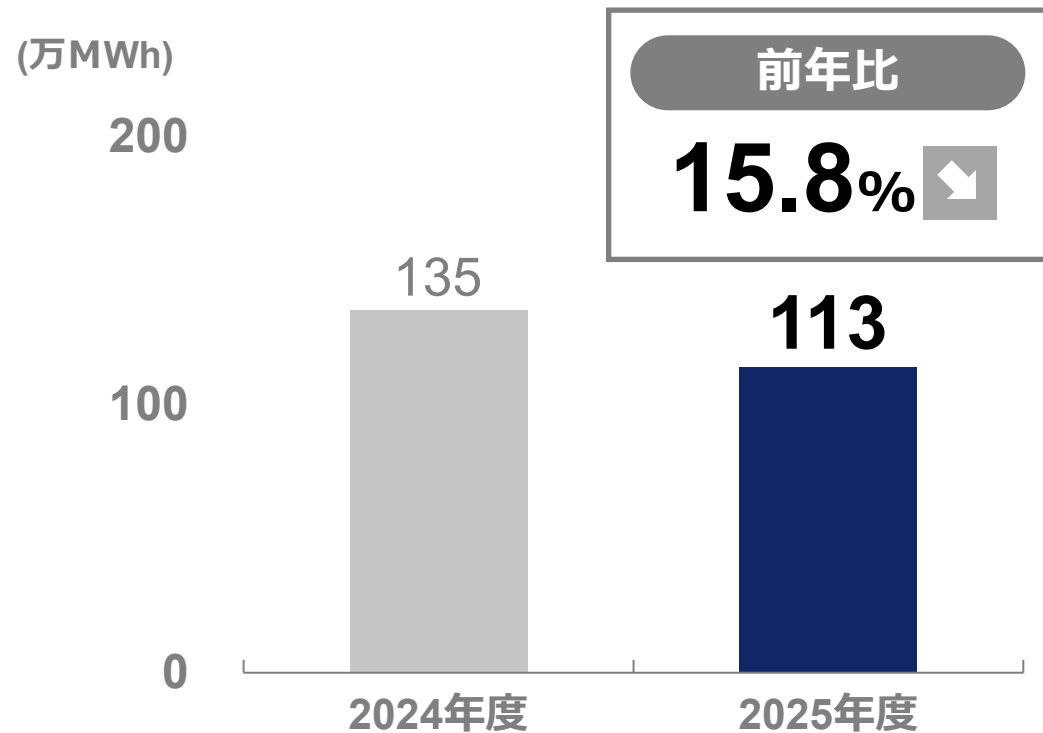


売上高

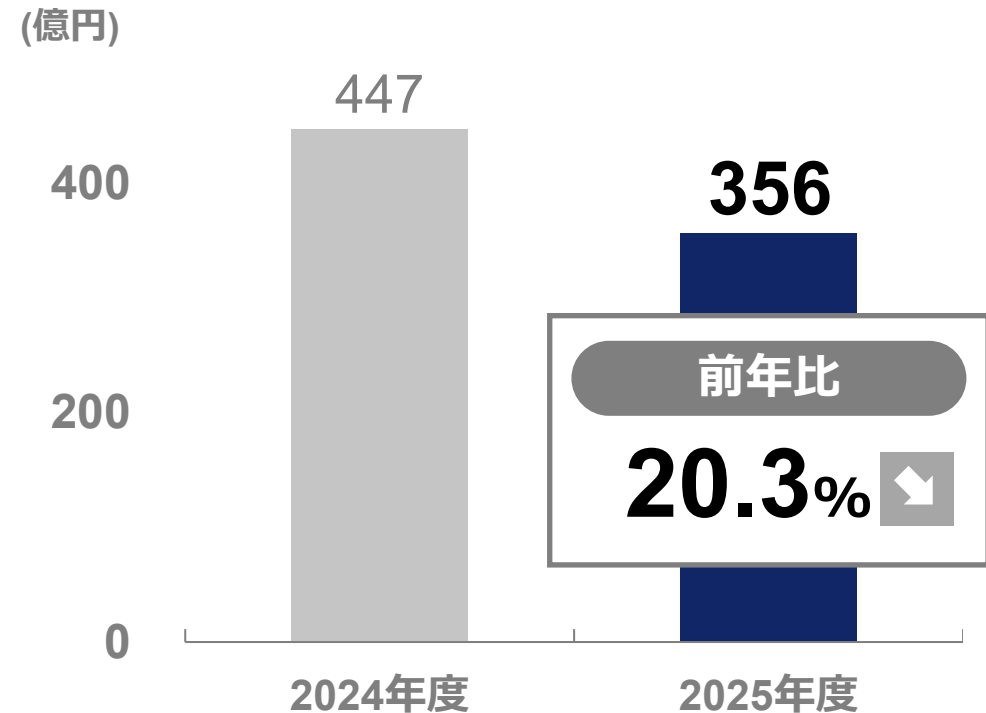


顧客ニーズの高い市場変動プランの販売により販売電力量は大きく増加
売上高も前年比4.0%の増加

販売電力量



売上高



販売電力量は子会社譲渡の影響等により減少、
市場価格の下落により売上高も前年より20.3%減少

発電所名	2025年度 発電量 (GWh)		
	計画	実績	計画比
佐伯	327	349	106.6%
豊前	496	483	97.5%
大船渡	518	525	101.4%
中城	327	355	108.6%
糸魚川	0	0	—
土佐	0	0	—

佐伯・大船渡・中城の各発電所は、安定稼働により計画を上回る発電量達成

2025年度 連結業績概要



(単位：億円)

	2024年度	2025年度	前年比
売上高	1,712	1,691	▲ 20
営業利益	71	75	3
税引前利益	63	89	26
親会社の所有者に帰属する 当期利益	21	53	32
資産	1,533	1,700	167
負債	809	924	115
資本	724	776	51

系統用蓄電池 第1号案件商業運転開始

概要

- 当社初の系統用蓄電池

第1号案件 宮崎県串間市

- サムスンC&Tジャパン共同出資
- 2026年4月7日より運転開始

第2号案件 千葉県

- 2026年度第3四半期運転開始予定

再エネ発電所併設型蓄電池 第1号案件投資決定

概要

- 太陽光発電所に蓄電池を併設し収益化
- 市場価格変動を活用した充放電

第1号案件 福岡県宗像市

- 太陽光発電所に蓄電池を併設
- 2027年上期運転開始予定

開発中プロジェクト	ベトナム	カンボジア
新設バイオ	・2基建設中（トゥエンクアン、イエンバイ） ・2027年度末運開予定	・バイオマス・太陽光発電所開発中
混焼	・発電所2か所で混焼試験済 ・2026年度商用運開予定	—
水力	—	・建設中、2026年度中運開予定
カーボンクレジット	・JCMクレジットについてベトナム政府と配分協議中	・バイオマス発電所について設備補助事業へ申請中
燃料	・サプライヤーとの直接取引開始 ・一次生産者との燃料交渉開始	・水力発電所用地等から木質バイオマス回収

発電収益の創出、燃料の安定供給、カーボンクレジットによる収益拡大

ハウジャンバイオマス発電所 (20MW、もみ殻年13万t)



稼働率の向上

- 26年5月稼働率実績94.6%

燃料費の削減

- 地元精米工場からの調達開始
- 米収穫期の安価なもみ殻を調達・備蓄

運営コストの低減

- 燃焼灰の販売先検討

トゥエンクアンペレット工場 (木質ペレット年15万t)



稼働率の向上

- 木質ペレット生産500t/日を達成

原料費の削減

- 高価な木質チップからベニヤ残渣へ

ベトナム大手ペレット会社と連携

- ベトナム政府は稼働から20年以上の石炭火力発電所でバイオマス等混焼開始の方針
- バイオマス混焼試験について、石炭火力発電所2か所において実施

実施済の 混焼試験	ナズオン発電所	■ 木質チップによる混焼率20%を達成 ■ ベトナム初の石炭火力での混焼試験を実施し、混焼運用に関する知見を獲得
	カオガン発電所	■ 木質ペレットによる混焼率30%を達成 ■ CO₂排出量を最大30%削減可能

2026年度中の石炭火力発電所でのバイオマス混焼事業の開始を目指す

株主様限定のウェブサイト「イーレックス・プレミアム優待倶楽部」を新設

対象	当社株主名簿に記録または記載された300株以上保有の株主様が対象
優待内容	米やブランド牛などのこだわりグルメ、スイーツや飲料類、銘酒、電化製品、選べる体験ギフトに加え、5,000種類以上の商品等と交換可能なポイントを進呈

保有株式数	各進呈ポイント数
	3月末日/9月末日
300～399株	2,000
400～499株	3,000
500～599株	5,000
600～999株	7,000
1,000～1,499株	12,000
1,500～1,999株	20,000
2,000～2,999株	25,000
3,000株以上	35,000



中長期の成長戦略



地政学リスク等による不透明感の拡大、急増が予想される
電力需要、再び広がる脱炭素への期待、「電力新時代」の到来

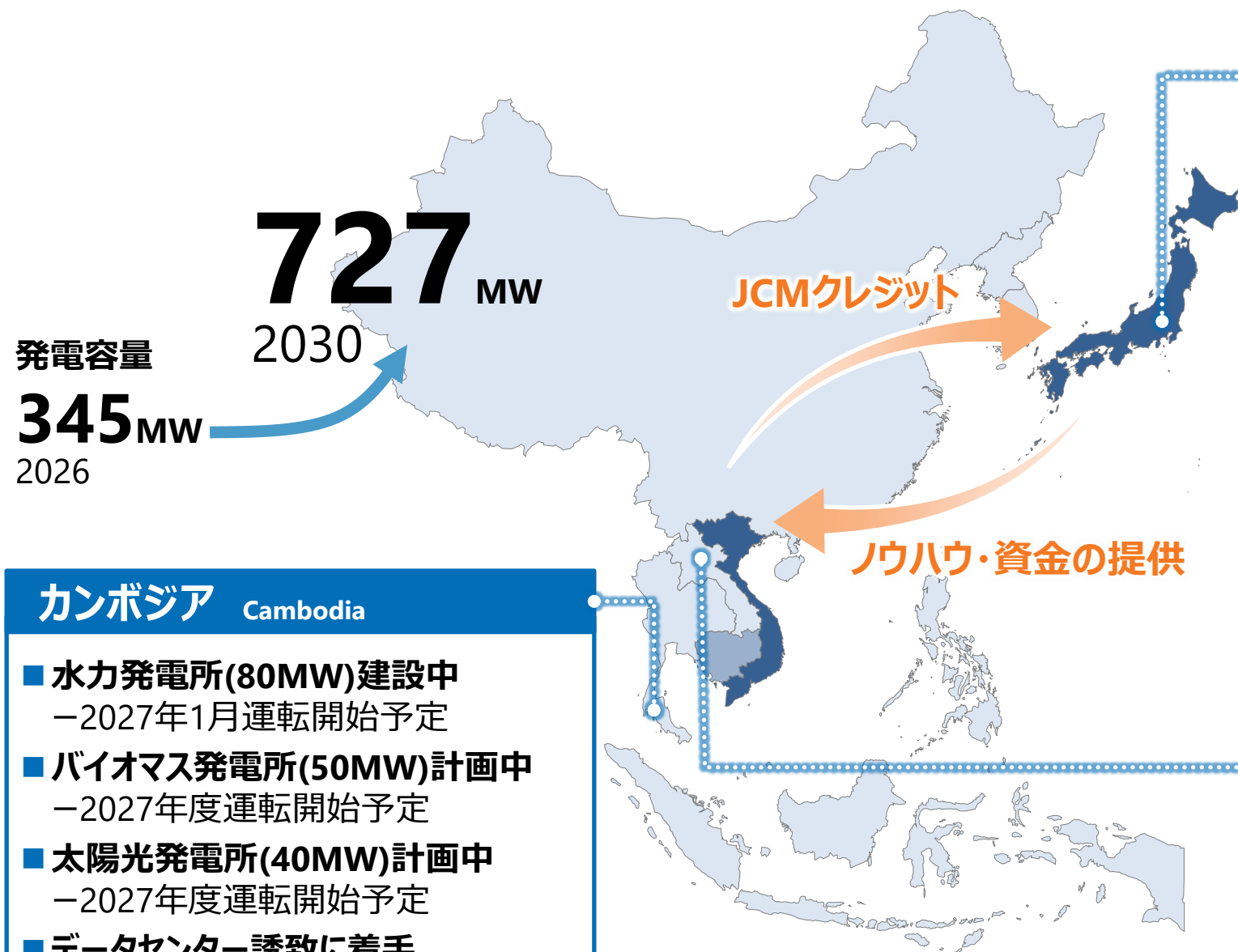
成長キーワードは「アジア」「AI」「脱炭素」

解決策は「アジア脱炭素サプライチェーンビジネスの構築」



「電力会社」から「エネルギー会社」へ変革

当社の国内外の事業展開



日本 Japan

- バイオ発電所(計4基) 運転中
ー合計249MW
- 新潟バイオ発電所(112MW)計画中
ー最短2029年度末運転開始予定
- 沖縄を含む10エリアで小売販売
- 蓄電池・アグリゲーション開始

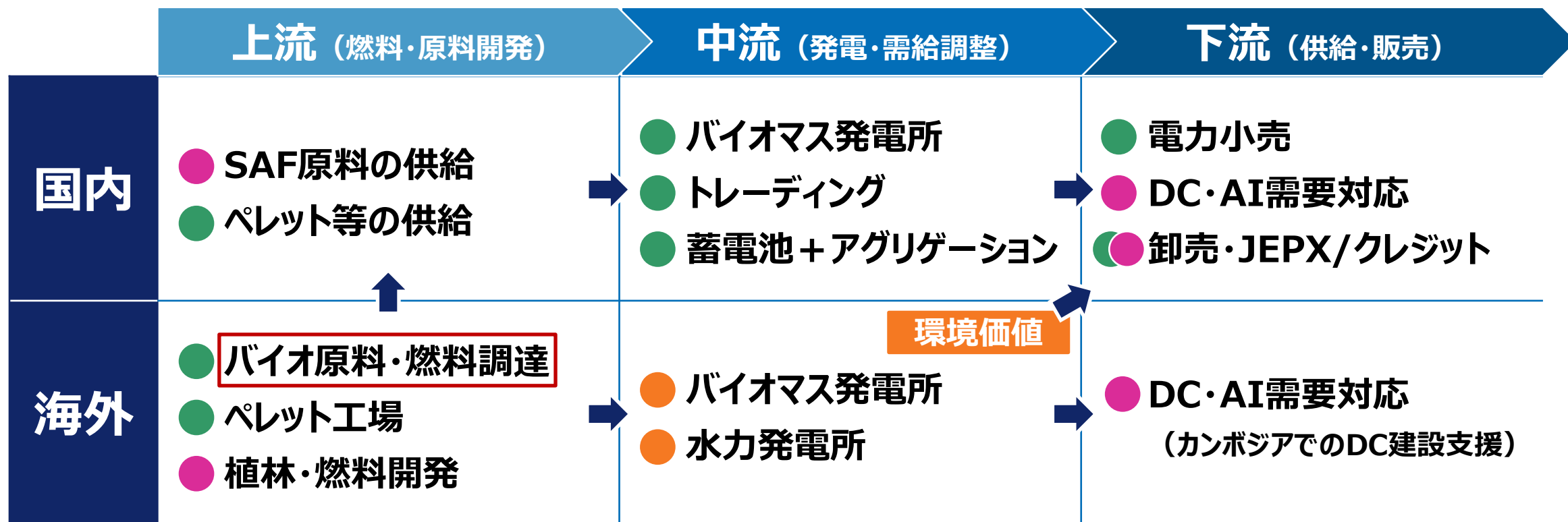
ベトナム Vietnam

- HGバイオマス発電所(20MW)
ー2025年4月運転開始
- TQ/YBバイオ発電所(50MW)建設中
ー2027年度運転開始予定
- 石炭トランジションを計画中
ービナコミンパワー社と協業予定
- TQペレット工場(15万トン/年)
ー2025年3月運転開始
ー日本向けに輸出

カンボジア Cambodia

- 水力発電所(80MW)建設中
ー2027年1月運転開始予定
- バイオマス発電所(50MW)計画中
ー2027年度運転開始予定
- 太陽光発電所(40MW)計画中
ー2027年度運転開始予定
- データセンター誘致に着手

● 計画中 ● 着工・着手 ● 実施済



上流から下流まで一貫体制のバリューチェーンを実現し、収益源を多層化

	案件	出力 (MW)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	税引前利益	
日本	新潟バイオ	112		建設中					電力供給開始	75億円/年
	新潟DC誘致/ 蓄電池	—		調査+建設期間(仮)					供給開始(仮)	
	蓄電池・アグリ	—		調査+建設期間(仮)					供給開始(仮)	
		—		第1号開始	順次建設					3億円/年 (3機)
ベトナム	YBバイオ新設	50		建設中			電力供給開始予定			14億円/年
	TQバイオ新設	50		建設中			電力供給開始予定			14億円/年
	石炭混焼	—		試験準備期間		混焼開始予定				5億円/年
カンボ ジア	水力新設	80	建設中		電力供給開始予定					9億円/年
	バイオマス新設	50	建設中		電力供給開始予定					15億円/年
	太陽光新設	40	建設中		電力供給開始予定					3億円/年
合計									138億円/年	

本格的な上流への進出：バイオマス燃料の自主開発



2030年長期契約
満了（改定）

自社供給

- コスト削減
- 安定供給

供給拡大予定

ベトナムバイオマス × 2 基
カンボジアバイオマス × 1 基
(各50MW)

ベトナム石炭混焼

新潟バイオマス
(112MW)

他社供給

■ 供給量：約150万t

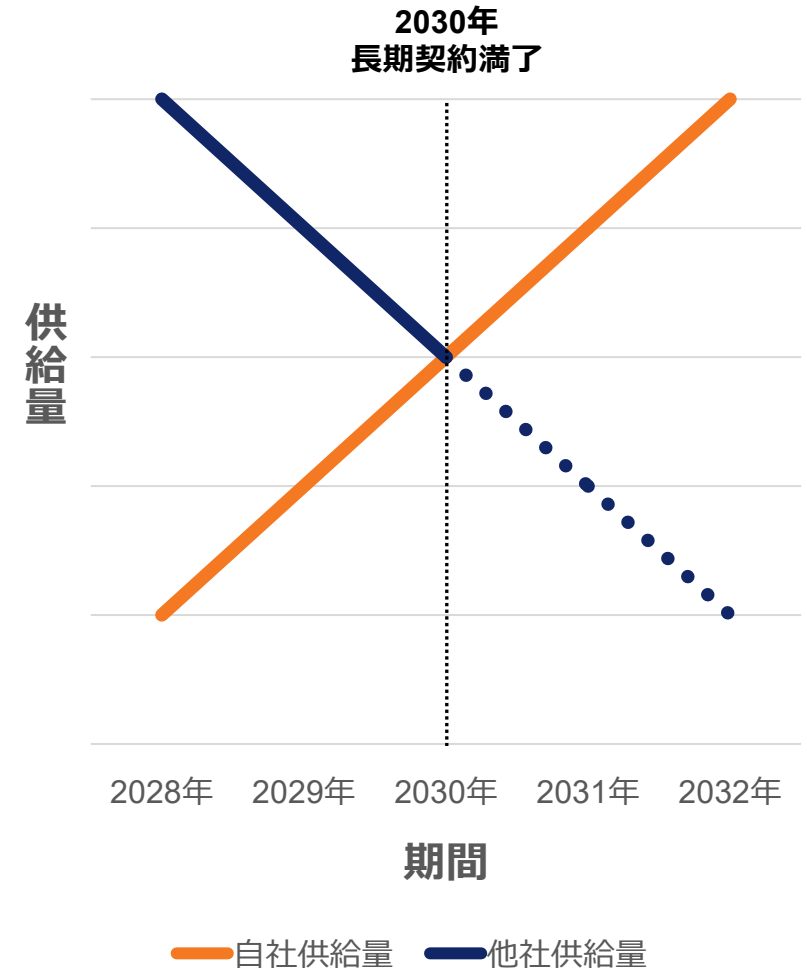
【内訳】

PKS：約100万t

WP：約50万t

徐々に
自社供給へシフト

供給量の変化



国内電力事業の新たな取り組み



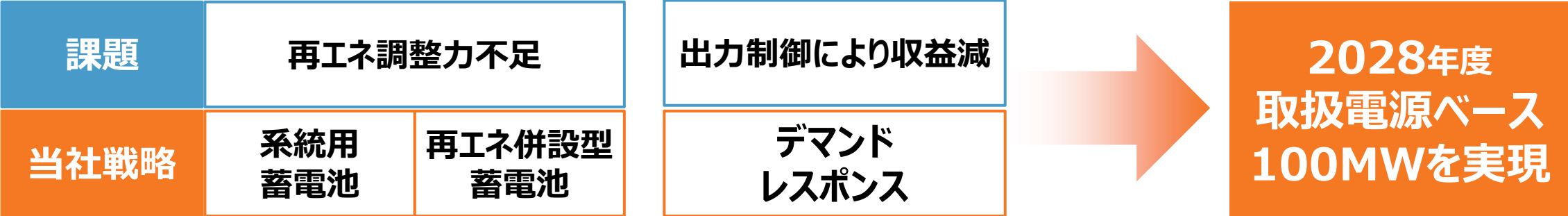
1. データセンターへの供給による販売力の強化 ➡ 量の拡大

- 今後需要が高まる地方でのデータセンター新設に対し、当社バイオマス発電所の近接に誘致
- 当社のバイオマス電力の安定供給を通じて社会課題を解決し、送電線の活用により収益拡大、安定化を同時達成



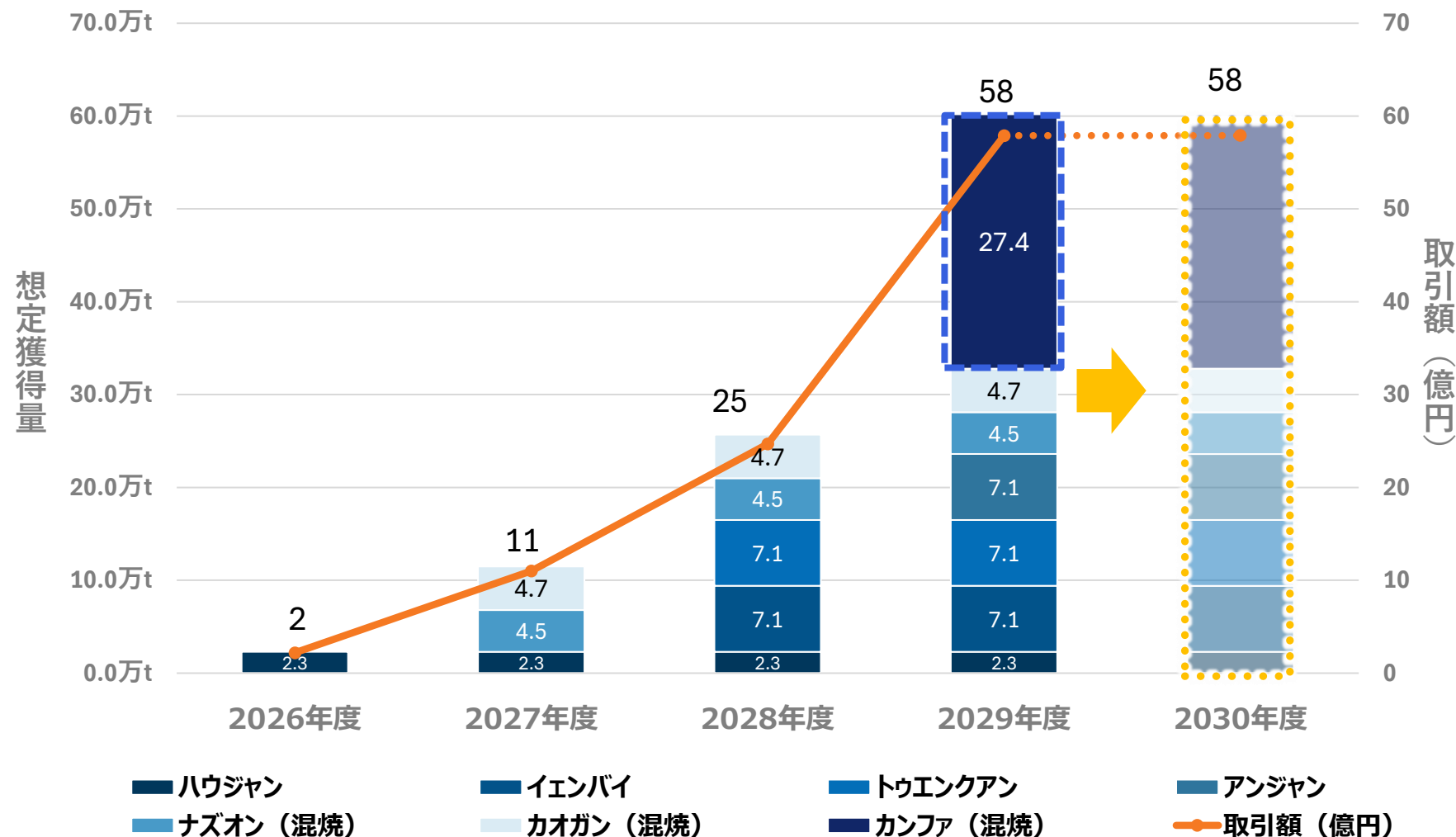
2. アグリゲーションの取り組みによる収益機会の獲得 ➡ 新規収益

- 政策主導に進む再エネ拡大により“調整力”が新たな収益機会
- 当社の持つ販売力と併せ、アグリゲーション機能を強化し、需要家ニーズの取り込み、新規収益機会の獲得



※現時点で事業化・投資を決定したものではない

カーボンのクレジットの創出（ベトナム）



2029年度
想定クレジット獲得量
想定取引額
(取引価格単価60 \$を想定)

獲得量
60 万t

日本円
58 億円

ベトナムでバイオマス電源を開発、電源需要に応え、カーボンのクレジットを創出

主な事業の進捗



イエンバイ・トゥエンクアン バイオマス発電所

イエンバイバイオマス発電所（起工式）



出力	完成見込	運転開始
各 50 MW	27 年度中	27 年度中



水力発電所工事進捗：ダム

カンボジア水力発電所

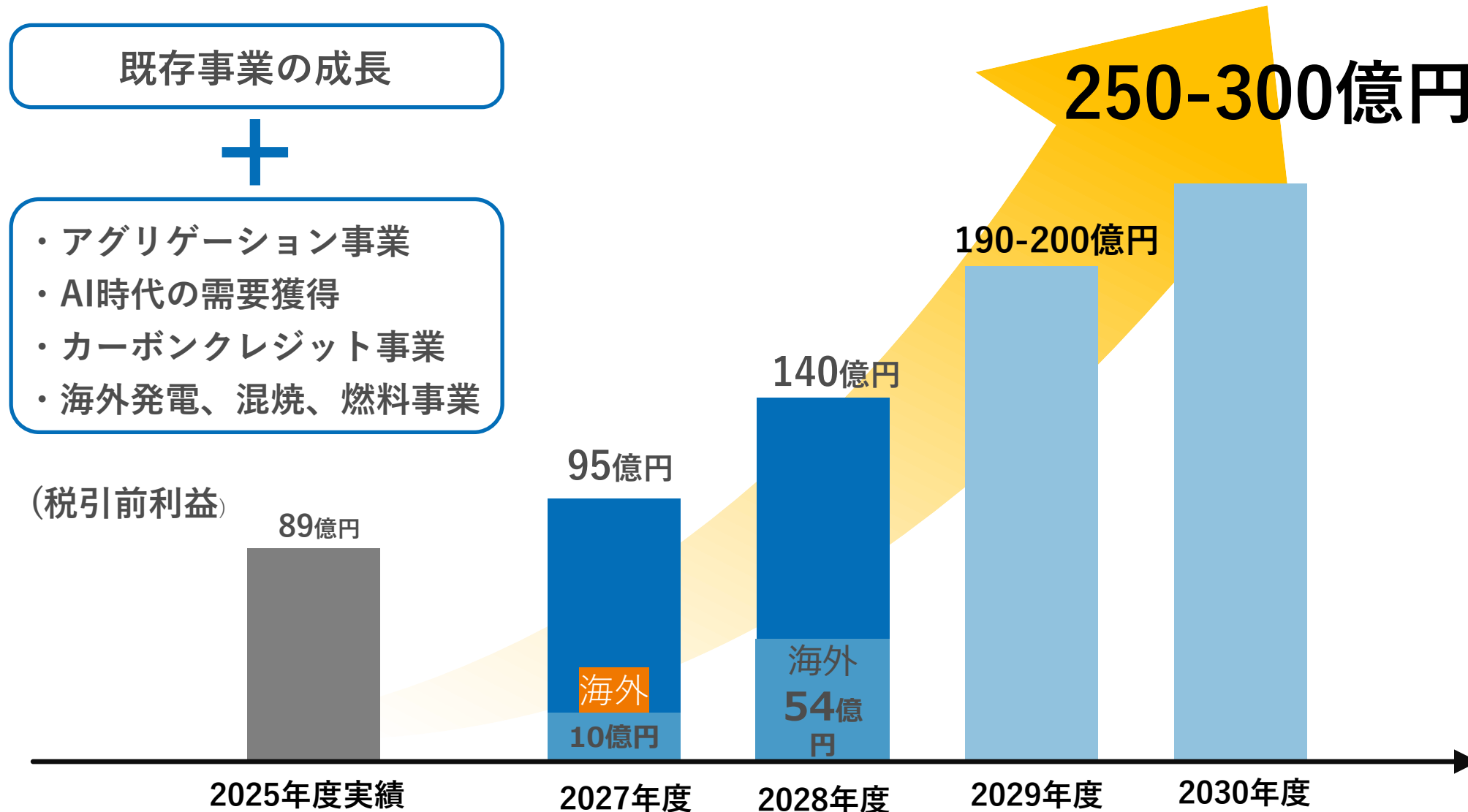
出力	完成	運転開始
80 MW	26 年 6 月	27 年 1 月

新潟バイオマス発電所

出力	完成見込	運転開始
112 MW	29 年度中	30 年 4 月



2026年度以降の成長曲線



個人投資家向けセミナー

イーレックス株式会社

13:35 14:15
3 回開催

株主優待導入

プレミアム
優待倶楽部

株主数 **10%** 増



機関投資家向け レポート発行

シェアードリサーチ社による
当社の調査レポート（無料）

Research Coverage

IR面談数（4Q決算）

2026年3月期
決算補足説明資料

前年比 **2** 倍



再生可能エネルギーをコアに
電力新時代の先駆者になる



第28期 定時株主総会

2026年6月26日